



品川シルバー大学同窓会

# 会報

平成 30 年 5 月 23 日

第 75 号

品川シルバー大学同窓会  
〒140-0062  
品川区小山6-6-10  
TEL 080-6634-6797

## 第 19 回 定期総会

- 日 時 平成30年 4月25日 (水)
- 場 所 中小企業センターレクリエーションホール

会場の設営を始めた10時過ぎは、前日に続き風を伴った雨降り。役員一同、会員の出足を案じ、浮かない顔。作業が一段落した昼過ぎには雨もほぼ収まり安堵した。

会員の方々は、例年通り開始30分前頃より三々五々来場され、会場では顔見知りを見つけて歓談する人、会場壁面に展示された絵画、書、写真等、会員の作品を鑑賞する方等和やかな雰囲気であった。

### Ⅰ 定期総会の部

総会は予定の13時30分、佐野事務局長よりの開会宣言で始まり、式次第に沿って進行した。

### 会長挨拶

同窓会長 保坂 駒雄

本日はお忙しい中、品川シルバー大学同窓会定期総会にお集まりいただき有難うございます。また、区役所からは立川文化観光課長と桑谷生涯学習係長に来賓として出席いただいております。厚く御礼申し上げます。

平成29年度の目標としていた①毎月1回の講演会や見学会等の実施、②従来、年4回の会報発行を隔月の6回に③情報化時代への対応が概ね達成されました。内容はメールでの参加受付、区民活動情報サイト「しながわすまいるネット」への掲載等々。しかしこれに



は課題もあります。役員個人所有のPC等関連機材を利用しなければならないこと等です。

平成29年度の催し物には、延1,058名の会員の方の参加を得ております。単純計算すると、会員一人が概ね2.5回の参加となります。ただし、一度も参加したことが無い方も150名程度おられます。他方参加申し込みをされた方の約20%が参加をキャンセルされております。いろいろ事情はおありと思いますが、出来るだけ沢山の方に参加していただきたいと願っております。また、同窓会活動の活性化のためにも是非皆様のご希望やご意見、アイデアをお寄せいただき、それを活動に反映出来ればと思っております。

同窓会の目標は、生涯学習を通じて豊かで生きがいのある健康な生活の創造です。その意味からも、同窓会の役割は益々重要になってくると考えております。

同窓会活動に参加することで、会員皆様の知識も友達の輪も広がり、元気で楽しい生活への一助としていただければ、と思っております。

この総会では、是非活発なご意見をいただ

けるよう期待しております。

最後に、同窓会の益々の発展と充実のため、会員の皆様、品川区役所等関係機関の皆様、よろしくご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。有難うございました。

## 来賓挨拶

文化スポーツ観光課長  
立川 誠 様

経理課長を4年務めてまいりましたが、生涯学習分野は初めてなので、皆様のご協力をいただきながら進めてまいりたい。生涯学習振興は品川区長期基本計画の一つとして進めております。その中でも、昨年度からシルバー大学の定員は160名に増員されました。そして今年度からは「いきいきコース」も同窓会の協力を得て1クラス増やすことができました。同窓会のシルバー大学に対する貢献は大きいものがあります。今後とも宜しく願います。

生涯学習係長  
桑谷 宏二 様

成年後見を2年務めてまいりました。これからのライフプランの中で生涯学習をどう位置づけたらよいのか考えてゆきたい。これには学習意欲が大切。この面からも同窓会にはシルバー大学を益々盛り上げていって頂きたい。



## 議長選出

会場からの立候補及び推薦者はなく、事務局提案の永森博氏が承認された。

## 資格審査

現会員403名のうち、出席者83名、委任状提出者175名、合計258名で、会則12条に基づき総会は成立する旨報告された。

## [第一号議案]

平成29年度事業及び会計報告は、議案書に基づきそれぞれ佐野事務局長、鍋木事業部長、松澤広報部長及び眞田会計部長から報告の後、高橋監事から「会計監査の結果適正に処理されており問題はない」旨の報告がなされた。

収支決算の概要は以下のとおり。

	項目	実績 単位：円
収入	年会費、その他	1,877,093
支出	事務費	475,814
	事業費	926,310
	広報費	247,320
	次期繰り越し金	200,649

## [第二号議案]

平成30年度事業計画及び会計予算(案)は、議案書に沿って、佐野事務局長より一括説明された。

議案毎に一括審議され、質疑応答の後、賛成多数で原案通り承認された。

収支予算の概要は以下のとおり。

	項目	金額 単位：円
収入	年会費、その他	1,639,149
支出	事務費	411,000
	事業費	794,100
	広報費	240,000
	次期繰り越し金	194,049

## 質疑応答の概要

**Q** 見学会保険の収入より支出が若干多いのはなぜか？

**A** 保険料は参加申込者の8掛けで先払いしている。キャンセルが20%以上出たので収入が見込みより少ない結果になった。

Q 区民プロデュース講演会とは？

A シルバー大学の「いきいきコース」とは別で、文化観光課管轄の講演会等に対する補助事業で、4年連続で補助は受けられないことになっており、昨年は申請できなかった。今年度は申請を予定している。

Q 視察船「新東京丸」について、希望者が定数を超えると抽選になるのか？

A 希望者全員が参加できるよう、2回に分ける等検討している。

Q 役員会の開催は月3～4回とのことだが会議費の予算は少ないのでは？

A 会議費は会場費のみである。ボランティア活動なので交通費等自己負担となっているが、見学会の下見、講師との打ち合わせやボランティア保険等必要最小限の経費は見ている。収入に見合った支出を勘案しながら運営している。

### [第三号議案]

#### 役員選出

会報、会場等で役員候補を募ったが、応募はなかった。事務局提案の候補全員が30年度役員として承認された。

石井美貴、晒野和雄、本間恵也、3氏が退任され、新たに鬼頭智子、黒岩菊枝、清水洋、3氏が新役員として就任された。



後列左より、林正己、菅波良司、川上満里子、井上延子、青山和子、木皿嘉子、宮沢直子、黒岩菊枝、鬼頭智子、清水洋、柴多喜子、新井潔、石井美貴、最後列、高橋毅、坂本洋一、菊島俊吉、前列、澤井健、真田昭子、佐野誠一、須永泰子、保坂駒雄、松澤邦男、鍋木渉、川村忠明、春日利文

続いて議長の終了挨拶の後、総会の部は定刻より若干遅れ14時45分に終了した。

展示スペースに素晴らしい作品をお寄せいただいた皆様に、品川シルバー大学同窓会より深く御礼申し上げます。(絵画：春日泰祐、写真：富田榮夫、菅波良司、春日利文、書道：鈴木信平、酒井登、須永榮子、木皿嘉子、折り紙：柴田正子 以上敬称略)

## II 交流会の部

10分間の休憩ののち、島田あつ子氏の指導の下、約15分のストレッチで体をほぐした後、八潮ハワイアンクラブ(代表 永井清子氏)のウクレレ演奏とフラダンスが披露された。その後、幸田紀夫氏のアコーディオン演奏でおぼろ月夜、鐘の鳴る丘等懐かしの歌を全員で合唱、16時30分閉会した。

総会終了後1階レストラン「蔵」で開かれた懇親会には役員を含めて53名が参加し、和やかな1時間半をすごしました。

参加者からのひとこと感想(提出者数29名)

- ・細部にわたり説明があってよかった。
- ・質問も出て、充実した内容でした。
- ・活発な意見も出て、有意義であったと感じました。お疲れ様です。
- ・はじめての出席で皆様の活発なご意見が参考になりました。

## 第6回見学会報告

### バス旅行

### 山梨県立リニア見学センターとシャトー勝沼ワイナリー

○日 時 平成30年3月14日(水)  
午前8時～午後5時30分

○参加者数 98名

山梨県立リニア見学センターは、山梨リニア実験線の走行試験の開始に合わせて開館した県立の博物館型見学施設です。





山梨リニア実験線での走行試験の様子を見学できたり、紹介されている超電導リニアの解説や、リニア中央新幹線の概要及び模型展示物等により、来館者が次世代の高速鉄道と言われる超電導リニアについて理解をできる施設です。

「山梨県立リニア見学センターとワイナリー」に参加して

砂川 真栄

3月14日品川区役所第二駐車場を予定通り8時出発。

バスは山手トンネルを通過して新宿から中央道へ。車の流れは順調で八王子を過ぎると景色も一変して旅行気分。暫くすると車内がざわめき何だろうと窓の外を見ると富士山がぼっかり白い頭を出している。更に進むとその雄大な姿が現れてみんな満足。何か得した気分。談合坂で休憩の後、10時予定通りリニア見学センター到着。

リニア館は3階建てで、1階が「学ぶ」、2階が「体験」、3階が「見る」の各コンセプトに分かれている。1階では2003年に時速581キロを樹立した実物の車両が展示。更に50年に亘るリニア開発の歴史も展示。2階の体験コーナーでは、超電導による浮上の仕組みが体験できる他、ミニリニアに試乗して磁気浮上走行が体験できる。実際に乗せてもらい車両が浮上している感じや若干の揺れも体感できた。3階は映像とジオラマで実用後のイメージを想像するコーナー。

入館早々に1回目の試走見学。近くに駅が

あるため助走に入ったと云うことで期待した程のスピード感はなかったが、2回目は流石にアツという間の時速500キロを視覚的に体感した。

9年後の2027年、東京・名古屋間286キロを40分、更に2037年東京・大阪を67分で結ばれ、総事業費9兆円という。山梨では県を挙げて経済効果を期待している。その時日本はどの様になるだろうか、夢は広がる。

リニア見学の後、昼食会場へ。「風林火山響きの郷」で、舞台上で演奏する太鼓の響きを聴きながらの食事。名物のほうとうや色とりどりの豪華版。太鼓の響きでお腹がびっくり。食事の太鼓はお腹にキツかった。

期待のワイナリーでは、工場内のボトリング等を見て、樽の並ぶ地下貯蔵庫などを巡ってよいよ試飲室へ。試飲用のカップを手に白赤の甘口辛口と順に通って試飲した後、好みのワインを楽しみ、ほんのり赤顔で皆さん大満足。各自お好みのワインを手にバスに乗り込み帰路へ。

車の流れも順調で無事に予定通り5時半に大井町に到着。

今回の見学会は5月初旬並の陽気にも恵まれすべて順調で楽しかった。幹事の皆様には、素晴らしい企画と当日のお世話等ご苦労様でした。有難うございました。大感謝。

(平成23年入会)



参加者からのひとこと感想(提出者数57名)

- ・個人ではなかなか見学できないリニアセンターは勉強になりました。ワイン試飲は少量でも回数で良い気分になった。天候にも

恵まれ良いバス旅行だった。

- ・お天気も良く楽しいバス旅行でした。昼のほうとうは美味でした。近い所ですが道の駅も良く、色々と味見もしてきました。

## 平成29年度第2回講演会の復活講演

### 古代の天皇はなぜ長寿なのか？

—古代国家の修史事業とその意味—

立正大学文学部 佐多 芳彦 教授



#### ○日 時

平成30年3月30日(金)  
午後2時～4時

#### ○場 所

中小企業センター  
2階 大講習室

#### ○参加者

会員 80名 役員 17名(1名懇親会)

「天照大神(アマテラスオオミカミ)」といえば日本の建国神話の主人公です。こうした建国神話がいつからあったのか定かではありませんが、6世紀ころといわれています。建国神話はその神話が作られたり、記録された当時の政治的指導者・支配者が、建国に関わった神との関連性を通じて、自らの支配の正統性を主張するものでした。

天照大神に連なるのが初代天皇である神武天皇でした。実在した人物なのかはわからない、神話上の天皇です。日向(現在の宮崎県)を発向し、いくつかの奇跡を起こしつつ、大和(同奈良県)に至り、天皇として即位します。その人生は127年間でした。この年齢は信じがたいものですが、なぜ、こうした、超人的な長さの人生とされたのでしょうか。

古代天皇が長寿であったころとは、すなわち誰も確認することのできない神話の時代でした。そして、神武天皇の寿命の長さは、大和の土地との絆の長さを示しています。奈良時代の大和朝廷をめぐる政治状況を象徴するのが、建国神話と神武天皇なのかもしれませ

ん。また外交上、当時の日本が長い歴史を持つ伝統ある国であることや、当時の倭国の支配者としての正当性・蓋然性を示す象徴でもあったのです。『古事記』『日本書紀』における天皇の寿命の長短は、意外にも背景となっている歴史を如実に示しているとはいえないでしょうか。

政治や外交を離れた建国神話と建国の英雄たち。現代、昭和戦前期に当時の軍部や政治に悪用されてしまった建国神話です。でも純粹に考えると、神話はファンタジックで夢に満ちています。また神武天皇というヒーローはその活躍ぶりにわくわくします。現代のわれわれには、もう少しだけ、建国神話というファンタジー、叙事詩を楽しむ余裕をもってもいいのではないのでしょうか。



参加者からのひとこと感想(提出者数54名)

- ・古代の天皇の寿命が政治的な観点から長くする必要があったのではないかという考え方は納得性があり興味深かった解り易い講義でした。
- ・古代天皇の長命への理由を分かりやすく解説してくださり、理解が深まった。

### 新役員からひとこと

鬼頭 智子

同窓会には大学3年時に入会したが、何かと身の周りが多忙で、この会の、開催されたイベントに参加できなかった。役員を引き受けた動機はお世話になった、品川区役所、諸先輩、多くの友人、に何か恩返しがしたいと

ということ、ならびに自己の研鑽、有意義だった楽しい学生生活がこれで終わってしまうのかという、寂しさやら。

微力ながら何かお手伝いをさせて下さい。先輩方の熱心な活動風景に触発されています。新人の御指導よろしく！

黒岩 菊枝

久方振りに学生気分浸って3年あつと云う間に卒業の日を迎えた。その間に多くの親しい仲間が出来た。この仲間とはもうあまり会う機会がなくなるのかなあ…と一抹の寂しさを感じていた矢先、同窓会の勧誘があった。同窓会は年1回ぐらいの会合があるのかなと思いきや、研修や見学会が盛りだくさんでびっくり、この中で自分らしく活躍できる場として事業部に所属を希望した。こんな研修をやりたい、こんな見学をしたいと今から胸を弾ませている。人間は一生現役、年齢に関係なくいつも青春を楽しむために…。

清水 洋

今回、理事会の一員となり、事務局の仕事をお手伝いすることになりました。2月にアカデミーを修了し、企画委員会の先輩に口説かれ、大変な役割を受けてしまいました。現役を離れ8年が過ぎ実務仕事とは無縁の生活に慣れてしまい、先輩諸氏についてけるか不安です。足を引っ張らないようにと、それなりに頑張ります。宜しくお願いします。

川柳雑詠

楽しくてまだ逝けないのパパ御免  
花見する友がみな居なくなり  
背くらべ傷を残して子は育ち  
災難に遭って器を試される  
孫帰り残していった障子貼り  
時々がいつもになった皿洗い

「ほのぼの川柳会（旗の台文化センター）」より

邦 邦 公 公 の の  
彦 彦 二 二 の の  
の ぼ る の ぼ る

あとがき

4月25日に第19回定期総会も無事終了。新入会員も増え、すでに活動が始まり、多くの参加がありました。

今年度もいろいろと、興味深い行事が企画されております。多くの会員の皆様の参加とご意見、ご希望をお寄せいただけたらと思っております。

より良い同窓会、そして会報のためにも！

(K.A)

### 講演会・見学会のご案内

#### ★A 講演会(第1回)

演題 今すぐやりたい整理術

「聞ておきたい」プロのアドバイス

講師 石見 良教

あんしんネット事業部長

日時 平成30年6月20日(水)

14時～16時

受付 13時30分～13時50分

場所 中小企業センター3階大会議室

#### ★B 見学会(第2回)

行先 大宮鉄道博物館

日時 平成30年7月18日(水)

13時～15時

集合 ニューシャトル鉄道博物館駅

改札口前

受付 12時20分～12時40分

会費 1000円

詳細内容・申込み方法

同封のチラシを参照ください。

多数の方のご応募をお待ちしています。

締切日 平成30年6月4日(月)

～

～

～

★今後の行事予定

(詳細は7月号にご案内)

#### 第2回講演会

演題 季節と健康

日時 8月下旬

#### 第3回見学会

行先「新東京丸」視察船

日時 9月中旬～下旬